

# いろいろなまちづくり活動があります (過去に実施したものを含む)

## 可児魅力創出イベント「巨大鍋とかまくら」

可児市で採れた食材を使って4種類の料理が食べられる、直径日本一の鍋に挑戦しました。鍋に使用した白菜は、地域の人たちも協力して「頭しばり」や収穫を行いました。



白菜の「頭しばり」と1月20日のイベントの様子 (19 ページ参照)

## 昭和のあそびパーク

コマ回しや射的など昭和の遊びをテーマに、世代を越えて楽しみました。



子どもたちが夢中で遊びました (年10回開催)

## 子ども見守り活動

住民同士の交流と安全・安心なまちづくりのため、小学生の下校時に通学路や団地内の見守りパトロール、安全点検などを実施しました。

## 帷子花火大会

子どもから高齢者までみんなで楽しめる花火大会を開催し、地域の絆を深め活性化を図りました。3年間まちづくり活動助成金を使用した後、さまざまな協賛を得て毎年実施しています。

## 鳩吹山の環境保全・環境美化・自然保護活動

鳩吹山をより豊かな自然にするため、自然保護活動を実施。また地域の教育機関や他団体と連携し、登山者の健康増進やマナー啓発を図りました。

## 可児のお宝巡り

市内の文化財を巡り、可児の歴史や文化に触れました。

問合せ先 地域振興課



詳しくはこちら

申込期間 4月1日(月)～5月10日(金)

※かにNPOセンターは、5月から場所が変わります(8ページ参照)。

申込方法 市ホームページ掲載の申請書をかにNPOセンターへ提出

共通

活動助成部門 可児市が元気になる活動が対象です。

助成額 対象経費の2分の1まで(上限は20万円)

スタート助成部門

活動を開始するための調査や研究などにかかる費用が対象です。

助成額 対象経費の2分の1まで(上限は5万円)

市民の皆さんが主体となって、もっと住みやすいまちになるよう取り組む活動に対して助成金を交付しています。「まちづくり」というと、堅苦しく難しいイメージがあるかもしれませんが、今やっている活動がまちづくりになるかもしれません。また仲間と一緒に、新しくやってみたいことはありますか。応募条件などがありますが、気軽にお問い合わせください。目的に合った部門で申し込んでください。

その活動がまはるへんじなびです

助成金を活用して活動

# かにママふたごちゃんみつごちゃん子育て教室

## グループトーク

毎月トークテーマを決めて、お母さん同士が話し合います。テーマは「妊娠・出産の状況」「外出」など双子家庭ならではの悩みが中心です。



お母さんたちの情報収集の大切な場所です

## 子どもの遊び

歌に合わせた手遊びをしたり布を使って体を動かしたり、絵本の読み聞かせなどで、双子が楽しく遊べます。スタッフが子どもたちと遊んだりあやしたりとサポートするので、お母さん同士も安心して自由に交流できます。



みんなで楽しく遊べます



たまにケンカしちゃうことも



教室に参加しました



木内裕貴さん、長男の碧都くん(2歳)  
双子の瑛都くん、萌瑛ちゃん(9カ月)

## 共感できる場所があるから安心

母子手帳をもらうときに、この教室のことを知りました。

双子の育児は、大変なことがたくさんあります。特に1人でお風呂に入れたり、ご飯をあげたりするときには苦労します。ただこうした大変な思いをしているのが自分だけじゃなく、その思いを共有できる人がいるのは心強いですね。

双子のうち、1人は歯が生えているけど、もう1人が生えておらず、ご飯をどうしたらいいか悩んだことがあります。そのときに先輩ママさんから、火加減の調整で柔らかくすることができるので同じものを作っても大丈夫ということを知りました。ちょっとした工夫ですが、そんな方法もあるんだと知り、気が楽になりました。